小野市議会だより

Ono city assembly

2010
5
No.141

第365回　3月定例会

一般質問

・松本英昭（まつもと ひであき）　・井上日吉（いのうえ ひよし）
・藤原　健（ふじわら たけし）　・鈴垣　元（すずがき はじめ）
・松井精史（まつい まさし）　・竹内　修（たけうち おさむ）
・岡嶋正昭（おかじま まさあき）　・吉田成宏（よしだ しげひろ）
・河合俊彦（かわい としひこ）

議案質疑

・河島信行（かわしま のぶゆき）　・松本哲昇（まつもと あきのり）

議会傍聴

3月定例会　73人
〔21年度計 225人（託児12人）〕

議員定数削減を可決!!

次回平成23年４月に予定されている市議会議員選挙から議員定数は2名減の16名になります。

3月定例会終わる

こんなことが決まりました……2～3
一般質問・質疑発言者………………4
一般質問等について……………5～10
常任委員会の審査報告………………11
議会改革特別委員会の報告……12～13
予算特別委員会の意見…………14～15
議会の動き……………………………16

第141号　平成22年５月１日
編集発行／小野市議会　小野市王子町806-1　TEL.0794-63-1006　FAX.0794-63-4108　http://www.city.ono.hyogo.jp

3月定例会

こんなことが決まりました。

3月定例会は、3月1日から3月29日まで29日間開催しました。平成22年度予算をはじめ、平成21年度の補正予算や条例制定などを含む議案30件を原案のとおり、可決しました。（議員定数を16人に削減する条例改正議案の詳細は、議会改革特別委員会の報告（12ページ）に掲載しています。）

一部改正された条例

一般職の職員の給与に関する条例及び職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

労働基準法の改正に伴い1ヶ月に60時間を越えた時間外勤務手当ての支給割合の改定（＋25%）、また、割り増し支給に変えて超勤代休時間の新設等。

委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について

市議会選出の各種委員の職務が議員本来の職務範囲内の場合の報酬を支給しないよう規定、国民健康保険運営協議会委員の報酬を年額から日額へ改正等。

行政財産の使用許可に関する使用料条例の一部を改正する条例の制定について

自動販売機設置等の使用料について、入札に基づき使用許可した場合の使用料の額はその落札額とし、附則において、都市公園内の自動販売機等も同様とするよう都市公園条例も改正。

小野市手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について

住民基本台帳カードの一層の普及促進を図るため交付手数料を無料化。

小野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

課税限度額を69万円から73万円に4万円引き上げ。

（基礎課税限度額　47→50万円）

（後期高齢者支援金等課税限度額　12→13万円）

（介護分納付金課税限度額　10万円は据え置き）

小野市福祉年金条例の一部を改正する条例の制定について（反対討論あり）

子ども手当ての創設及び就労支援業務、母子支援業務の充実、高校無償化等による母子福祉年金（年額2万円）の廃止。

小野市保育の実施に関する条例の一部を改正する条例の制定について

児童福祉法の一部改正により、「保育の実施」の定義が保育所における保育と家庭的保育事業における保育を総称することとなったため、条例中の「保育の実施」を「保育所における保育」に文言修正。

小野市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について

事業の円滑な運営等のため、計画等策定委員会、地域包括支援センター運営

協議会、地域密着型サービス運営委員会を集約した小野市介護保険運営協議会の設置及び附則により、委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正を行い、当該委員の報酬を規定。

小野市白雲谷温泉ゆぴかの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

岩盤浴の利用促進を図るため、岩盤浴の使用料を１、５００円から１、２００円などへ、引き下げる。

小野市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

昭和41年より小野市が行ってきた加西市栄町地域の給水を平成23年４月１日から加西市が行うこととなったため、同区域を給水区域から削除。

小野市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について

個室型店舗の防火安全対策として、避難通路に面する外開き戸については自動的に閉鎖するものとするよう義務付けを規定。

主な議案

小野加東環境施設事務組合規約の変更について

組合経費には、ごみ処理量に左右されない経費があることから、負担金の分賦方法について、従来の実績割に均等割、人口割を追加。

小野市道路線の認定について

開発行為による寄附に伴う新規認定（４路線）

小野市道路線の変更について

付け替え等による起終点の変更（２路線）

補正予算関係議案

今回の補正は、国の緊急経済対策（地域活性化・きめ細かな臨時交付金）を受け、旭丘中学校駐輪場の整備、ひまわり園の改修、防火水槽等消防関連施設の整備、道路整備などの経費を計上するとともに、12月補正で計上した小野中学校体育館新築事業の平成22年度予定分の前倒し、特産品開発施設の整備補助、子ども手当支給にかかる準備経費などの補正を行おうとするものです。

平成21年度小野市一般会計補正予算（第6号）

補正額　５３５、０００千円　減額

総　額　１９、４９０、４００千円

平成21年度小野市介護保険特別会計補正予算（第2号）

補正額　３７、０００千円　減額

総　額　２、９０３、７００千円

平成21年度小野市都市開発事業会計補正予算（第1号）

収益的支出　２３、５００千円　減額

資本的支出　９、８００千円　減額

平成21年度小野市病院事業会計補正予算（第1号）

収益的支出　６００千円　減額

資本的支出　７、２００千円　追加

平成21年度小野市水道事業会計補正予算（第2号）

収益的支出　１４７、０００千円　減額

資本的支出　８３、５００千円　減額

平成21年度小野市下水道事業会計補正予算（第2号）

収益的支出　４１、９００千円　減額

資本的支出　６７、０００千円　減額

各会計の補正予算額

（千円）

会計		補正前	補正額	計
一般会計		20,025,400	△535,000	19,490,400
特別会計	国民健康保険	5,351,089	0	5,351,089
	老人保健	36,972	0	36,972
	介護保険	2,940,700	△37,000	2,903,700
	後期高齢者医療	378,321	0	378,321
	小計	8,707,082	△37,000	8,670,082
企業会計	都市開発事業	78,600	△33,300	45,300
	病院事業	4,700,000	6,600	4,706,600
	水道事業	2,080,500	△230,500	1,850,000
	下水道事業	3,604,900	△108,900	3,496,000
	小計	10,464,000	△366,100	10,097,900
合計		39,196,482	△938,100	38,258,382

新しくなった船木浄水場

（一般質問・質疑は発言した議員が編集しました）

平成22年 3月定例会

市議会ＨＰ内の「市議会ビデオライブラリ」からも、議会の様子をご覧いただけます。
HPアドレス：http://www.city.ono.hyogo.jp/~gikai/

一般質問発言者

松本英昭 議員
・下東条地区まちづくり活性化計画について

井上日吉 議員
・自立的に生きる力を培い、創造性を伸ばす教育について
・北播磨総合医療センターの収支計画（案）について
・安全安心パトロール車について
・市民の声について
・市職員の交通安全の意識と指導について

藤原　健 議員
・変化の激しい教育環境の対応について
・市民病院の入院患者への対応について
・高齢者家族への支援について
・市税滞納者の戸別訪問について

鈴垣　元 議員
・新農政に対する市の対応について
・道路舗装整備５ヵ年計画について
・福祉総合支援センターの整備について
・小野市への警察署新設の効果について

松井精史 議員
・戸別所得補償制度について
・国民健康保険事業の健全運営について
・地域内の元気な高齢者への交流の場について

竹内　修 議員
・インフルエンザ菌ｂ型ワクチン接種について
・高齢者施策について

岡嶋正昭 議員
・小野中学校改築工事について
・市民病院の経営状況について
・市長の施政方針について

吉田成宏 議員
・農政改革と今後の市の農業ビジョン改定について
・ＡＥＤ（自動体外式除細動器）の配備について
・フェニックス共済について
・ＩＣＴ教育の進め方について

河合俊彦 議員
・シビックゾーンの活性化対策について
・黒川西地区の整備ついて

質疑発言者

河島信行 議員
・議案第２号　平成22年度小野市一般会計予算について
・議案第17号　一般職の職員の給与に関する条例及び職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
・議案第21号　小野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について
・議案第25号　小野市白雲谷温泉ゆぴかの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
・議案第28号　小野加東環境施設事務組合規約の変更について

松本哲昇 議員
・議案第２号　平成22年度小野市一般会計予算について
・議案第10号　平成22年度小野市下水道事業会計予算について
・議案第20号　小野市手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について
・議案第26号　小野市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

新生クラブ
松本英昭議員

下東条地区まちづくり活性化計画について

質問 コミセン下東条が築31年となることから、早期の耐震診断が望まれるが実施はいつ頃になるのか

答弁 2月8日より調査が始まっており、8月頃には診断結果が出る予定です。診断結果により耐震整備が必要ならば、ただちに整備計画を検討して参ります。（教育次長）

質問 平成22年度に企業による桜の植樹計画をされているが、その内容について

答弁 企業参画による桜の植樹計画でありますが、㈱ダンロップリトレットサービス（北丘町）より「CSR（企業の社会的責任）活動」の一環で、小野市に対して「桜の苗木」の寄贈の打診があり、植樹内容はコミセン下東条周辺に約30本、こだまの森に約100本、おだ子午線の森に約50本となっています。（教育次長）

質問 継続的な事業ならば今後東条川にも植樹されるお考えは

答弁 今後も継続して預けるものと考えており、桜づつみ回廊のように東条川についても河川改修が終了した場所について植樹して参ります。（地域振興部長）

質問 千歳橋から船木橋の道路舗装の計画について

答弁 要望書を頂いており、親水公園の景観整備計画に合わせ実施して参ります。（地域振興部長）

質問 現在市内において駅舎を利用した拠点作りが進められていますが、下東条地区にも活動の拠点が必要と考えますが

答弁 財政も厳しく、市民目線から見ても今や箱物作りの時代ではありませんが、下東条地区には、賑わいづくり、地域づくり、愛着づくりの拠点がありません。大変な決断ですが、市民力をつける為にも、下東条地区のすばらしい自然とマッチした新たな活動拠点としてハード事業に取り組むことを明解にしたい。（市長）

新生クラブ
井上日吉議員

質問 自立的に生きる力を培い、創造性を伸ばす教育について、小野市の教育に対する基本理念をお伺いします

答弁 小野市は『夢と希望の教育』振興計画の中で示しておりますように、教育理念を《世界で活躍できる心豊かで、たくましい人づくり》としております。全国的には、《心豊かな人づくり》というのが理念として共通したものでありますが、小野市は、現在の子供たちの実情と、子供達がこれから生きていく社会を想定して「世界で活躍できる」と「たくましい」を加え、《世界で活躍できる心豊かでたくましい人づくり》としたところです。わが国の最近の経済や産業に目を向けますと、議員も御承知のように、アジア、中でも中国、インドの経済成長やそれにともなう科学技術の進歩が、わが国をはじめ世界経済の動向に大きな影響を及ぼしております。経済大国を誇ってきたわが国も国内の製造工場を閉鎖して、これら新興国に移す動きが広がり、産業の空洞化が始まっておりますし、商業の国際展開も急速に広がる動きも見せております。従って、今からの子供達が成人して生きる時代は、これまで以上に世界との関係に目をむけて、より広く世界の中で生きていかなければいけない時代になると考えられ、これからは、世界で活躍できる子供を育成することが大切であるという認識のもとに、「世界で活躍できる」という文言を入れたところであります。

質問 教育の重点目標について

答弁 教育理念を実現する教育の基盤を、国際的に注目されている川島隆太教授の前頭前野の働き（①耐える力 ②感情を抑制する力 ③人と協力する力 ④コミュニケーションする心の働き ⑤記憶する力 ⑥記憶した物を結びつけて新たに創造する力等）に着目した脳科学理論に基づき、さまざまな教育施策を展開することとしております。（教育長）

新生クラブ　藤原　健　議員

質問　市内小・中学校児童生徒の「問題行動」と「体力・運動能力」の状況と対策はどうか。そして、県から配置されているスクールカウンセラーの状況も知りたい。

答弁　平成20年度問題行動調査での兵庫県では、千人当たりの暴力行為で小学校2・3件、中学校18・2件と全国平均に比べて、小学校0・4件、中学校5・7件が上回っている結果となっています。ところで小野市では、小学校2件、中学校2件の発生を見ていますが、千人当たりでは小学校0・6件、中学校2件で、全国、兵庫県に比べて小野市の児童生徒は落ち着いていることが分かります。

このように市内の児童生徒が落ち着いているのは、小野市が取り組んでいる「おの検定」において学力の定着を図り、「小・中連携」教育により、きめ細やかな児童生徒理解に基づく生徒指導体制が推進され、問題行動の未然防止策が打てていることの現われで、小野市が取り組んでいる、脳科学に基づく16か年教育の賜と言えます。

体力・運動能力については、調査の対象により、結果が異なっております。この結果の違いを分析しますと、小学校5年に肥満児傾向が多いことが分かりました。

県から小野市に配置されているスクールカウンセラー（教育機関において心理相談業務に従事する心理の専門家）は、現在、中学校に4名と、小学校には、拠点校として小野東小学校に1名となっています。児童生徒が抱える様々な問題に対して、今後も引続き、きめ細やかな対応を進めるために、県に対して、スクールカウンセラーの勤務時間の拡充と小学校への配置を要望してまいります。

今後とも、生徒指導体制の充実に努め、学校が家庭や関係機関と連携することにより、児童生徒の問題行動に対して未然防止・早期発見・早期対応に努めてまいります。

（教育長）

日本共産党　鈴　垣　元　議員

新農政への市の対応について

質問　集落営農で麦・大豆等の作付をしているところでは、新制度により補助金が減るため営農組織の運営が困難になると心配されている。事実なら、これらの作物が作れなくなり、結果として自給率向上に逆行する。

答弁　麦・大豆の補助金が減るのは事実。そこで、急激な変化によって運営に影響することから、対応策として激変緩和措置を講じることになっている。この制度を活用し、22年度も安定的な生産が維持できるよう関係者と協議し、単価設定していく。

質問　米粉用・飼料用稲等新規需要米は、交付額は高いが販売先が見つからなければ絵に描いたもちで作れない。販売の見通しをどう想定されているか。

答弁　新規需要米に取り組むには、兵庫農政事務所の認定を受ける必要があり、業者一覧の情報提供もある。希望農家には農会長を通じ販売先情報を提供するとしているが、現実的には、需要と供給がマッチングするか課題があり、国・県・JAと連携し支援して行きたい。（地域振興部長）

質問　市内の農地面積は24㎢。この面積は道路河川等公共用地を除き、市面積の43％強、まさに田園都市小野市だが、22年度一般会計予算に占める「農林費予算」はわずか2％。昨年からは「農政課」が無くなった。市の基幹産業であるはずの農業が軽視され、行政機構から「農」の字が消えていっている。豊かな農地を生かす市農業の将来をどう展望するか。

答弁　新たな政策が出されているが、農業で食べていけるかどうかだ。パート労働者の年収よりも農業で得る収入の方が少ない現実がある。市では、一部を除き土地を守るだけの農業になっている。農業者の自助努力も必要でしょうし、流通ルートの抜本改革も必要と思う。見える成果が出るなら市として決断したいが、これまで成功しなかった。（市長）

明政クラブ
松井 精史 議員

戸別所得補償制度について

質問 集落営農等に対する市の指導について

答弁 水稲については新たな米戸別所得補償モデル事業が創設され、水稲10a当り15千円の補助金が交付される。まず一つ目は、減収の抑制を図るため、戦略作物を組み合わせた農業経営へ移行させる。二つ目は、規模拡大による収益の増加を図るため、不作付地を解消する。三つ目は、新規需要米に取り組み増収を図る。四つ目は、ブロックローテーションの確立を図る。

質問 特A地区（下東条）において、酒造メーカーからの出荷要望が強い状況にあるが、山田錦の生産数量調整の緩和策はないか

答弁 特定地区に対し、現在の状況から判断して緩和策は困難であると考えます。（地域振興部長）

地域内の元気な高齢者への交流の場について

質問 「ふれあい いきいきサロン」の実施状況について

答弁 小野市社会福祉協議会による「ふれあい いきいきサロン」は、29箇所の公民館・集会所で毎月1回開催されており、平成21年度の実施回数は、本年1月末現在で、延べ380回、6，885名の方の参加を得ています。また、地域包括支援センターによる出前形式の介護予防教室は、各町のサロン、老人クラブ、介護予防サポーターの皆様のご協力により、本年1月末時点で、延べ81回、1，493名のご参加をいただいています。今後も市と社協が実施するそれぞれの地域を基本とした「生きがいづくり」、また、介護予防などについて、引き続き推進してまいります。（市民福祉部長）

公明党
竹内 修 議員

ヒブワクチン接種について

質問 5歳未満の乳幼児が、インフルエンザ菌b型や、肺炎球菌によって発症する細菌性髄膜炎を予防するヒブワクチン4回分（3万円）の助成についてのお考えは

答弁 ヒブワクチンは、輸入ワクチンで、本年12月ごろまで改善の見通しが立たないとの情報がありますが、接種補助については、生後2ヶ月以上、7ヶ月未満の乳児を対象に検討いたします。（市民福祉部長）

高齢者施策について

質問 在宅介護は、大変な負担であり、老々介護も増加しています。支援強化と在宅介護をされているご家族の心身両面のリフレッシュを図る「レスパイトケア」の拡充についてのお考えは

答弁 ご指摘の通り、在宅介護をされているご家族の「レスパイトケア」は、虐待や、深刻な事態を防止するために大変重要です。

本市のデイサービス、デイケアなどの月平均利用日数は、県下最多の9.8日で、365日24時間切れ目なく介護サービスを提供する仕組みとして、「ショートステイ」6床の増床と、利用希望者の多い「小規模多機能型居宅介護施設（現在市内2ヶ所）」を本年度、南圏域に1ヶ所公募しているところです。

また、定期的にエクラで、専門的知見によるアドバイスを行う「もの忘れ・うつ相談」や、日頃の介護について自由にお話いただく「介護家族者交流事業」を開催しご家族の心の負担軽減を図っていますが、ご家族の負担は、尽きることがなく引き続き支援の充実を図って行きたいと考えております。（市民福祉部長）

市民クラブ
岡嶋正昭議員

小野中学校の改築について

質問 進捗状況及び、構造等について

答弁 昨年10月に安全祈願祭を行い、工事に着手。現在は、3階（5階建て校舎）部分へと工事が進んでいる（23年2月完成予定）。体育館は2階建で、延べ床面積1，460㎡（アリーナは約810㎡）2階には、会議室・軽運動が出来るスペースを設置予定です（次年度の卒業式が執り行えるような計画で実施している）。又、正門東側の土地の用地協力が得られ、正門前を広く開放し、安全通学できるよう計画に反映。（教育次長）

市民病院の経営状況について

質問 経営改革プランの実施状況について

答弁 今年度決算見込みでは、約3億円の損失見込み。経営改善策として、病診連携による患者の確保・薬事指導・栄養指導の徹底による収益確保に努める。経営戦略推進会議で、収支状況を検証し、改善に努め、「患者様側の目線に立った医療の提供」を行い、経営改善に繋げていく。今年に入ってからは病床利用率も90％を確保するところまで改善されている。（市民病院事務部長）

市長の施政方針について

質問 神戸電鉄の活性化について

答弁 昭和27年に粟生線が全線開通。北播磨地域と阪神間とを結ぶ重要な役割を担ってきた。車社会の進展・人口減少・産業構造の変化などの影響を受け利用者が大幅に減少。厳しい経営状況にある。粟生線全体では約2万人が利用。小野市内だけでも約3千人が利用。（内、市内の学生が500人・市外の学生1千人を含む。）通学手段の確保は、沿線自治体の責務である。神戸電鉄粟生線活性化委員会で、活性化について協議中。（小林副市長）

清風クラブ
吉田成宏議員

農業ビジョンの改定について

質問 新農政に合わせ、元気の出る農業・農村へ、10年後を見据えた中期農業ビジョンの策定について

答弁 我が国の農業・農村は、高齢化や担い手不足、混住化による集落の機能低下が進んでおり、遊休農地などによる農村環境の悪化が懸念されています。新たな農業ビジョンの柱としては、①生産性の向上が図れる体制整備を誘導し、休耕地等不作地の解消。②意欲と能力のある担い手の育成と、経営発展による食料供給力強化。③米の新たな可能性の追求（米粉パン・麺の開発）によるものづくりへの支援。を基に今年からはじまる新たな制度（戸別所得補償・水田利活用自給力向上・六次産業化）を生かし、将来に向けて明るく生き甲斐のある農村の環境を創造する事が出来る水田農業ビジョン改定に取り組みます。（地域振興部長）

ICT教育の進め方について

質問 「夢と希望の教育」で示された「小野市型ICT教育」の具体的内容とその手法について

答弁 チョークとトークによる授業から、「ICT」を切り口に、教員の授業に対する意識改革を行い、わかる授業を子供たちに提供することで更なる学力向上を目指します。ICT機器を活用することで、資料作りに要した無駄な時間が削減され、生徒と教師、生徒同士のコミュニケーションが活発化し思考力が深まり知識の伝達だけでなく、学びのプロセスのある授業が出来ます。①ICT機器の環境整備。②機器整備と並行して研修会を開催し、教員の指導技能向上を図る。③いかに授業の中でICT機器を活用出来ているかを検証。以上3視点で研究しています。導入機器は、「プロジェクター」「教材提示装置」「パソコン」で各教室に地デジ対応テレビは不要です。（教育長）

市民クラブ
河合俊彦 議員

シビックゾーンの活性化対策について

質問 小野サティの存続について

答弁 市内唯一の大型小売店舗であり市民生活における重要な店舗と位置付け、市内名産品の物産フェアの開催や、平成22度予定の、らんらんバスの店舗敷地内への乗り入れも考えております。今後につきましても、連絡協議会と連携して、支援策を検討してまいります。

質問 小野サティ北東駐車場について

答弁 テナントの撤退が相次ぎ、賃料が減少するなか、当該駐車場に銀行建設について協議されていると聞いております。

（小林副市長）

黒川西地区の整備について

質問 現在の取り組みについて

答弁 平成17年5月に、住環境の整備に関する要望書が黒川町から提出され、地元、地域の関係者を交え協議してまいりました。本年1月に、黒川町、及び関係者に説明会を行い、2月には組合設立準備委員8名を選考。組合設立までの準備・調整を行っていただき、平成22年度、事業実施に向け取り組んでおります。

質問 整備内容と今後のスケジュールについて

答弁 実質面整備1・5haを考えており、地域内には幅員5m～6mの道路を配置し、東側の区画整備で完成している道路と結ぶ計画や、区域の大半が大池に面するため、宅地の保全と環境整備として、遊歩道の設置計画及び、災害時の避難場所になる公園も考えております。今後の事業スケジュールについて、平成22年度は、現地測量と事業計画の策定を行い、土地区画整理組合の許可取得を予定しています。事業期間は約5年を計画しています。

（地域振興部長）

議案質疑

新生クラブ
河島信行 議員

質疑 施設整備助成経費について

答弁 市内5保育所（小野保育所、下東条中央保育園、下東条西保育所、みやま保育園、小野ひまわり保育所）の施設整備補助です。

（市民福祉部長）

質疑 小野まつり補助経費について

答弁 昨年度と同額（運営・総務・宣伝費に約6百万円、ステージ関係委託費に約2、500万円、警備費に約700万円、おの恋おどり、のど自慢大会等の行事費に約400万円）補助です。

（地域振興部長）

質疑 浄土寺周辺整備事業費について

答弁 国宝「浄土寺」正面入口から浄谷北池までの遊歩道の整備です。

（地域振興部長）

質疑 小野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

答弁 国民健康保険税基礎課税限度額は47万円から50万円に、後期高齢者支援金等課税限度額を12万円から13万円に引き上げます。

（市民福祉部長）

質疑 白雲谷温泉ゆぴかの岩盤浴料金の値下げについて

答弁 今回の値下げの理由は、お客様からの要望を受けたものです。この値下げにおいて想定される利用者数は、昨年（平成21年）7月の半額期間の利用者数から、30％増の約17、600人が見込まれるので、損失を出さず健全な運営が図られると考えます。

（地域振興部長）

質疑 小野加東環境施設事務組合（市クリーンセンター）規約改正（小野市の負担金軽減）について

答弁 構成市（小野市と加東市）の負担の均衡を図るため、均等割10％、人口割10％、実績割80％に変更します。小野市の負担額は約600万円の減額の見込みです。

（市民安全部次長）

議案質疑

清風クラブ
松本哲昇議員

一般会計予算について

質疑 コミュニティバス事業経費38、400千円の内容について

答弁 バス運行事業は7年目に入り、平成20年度は当初の利用人員から倍増6万7千人となっている。福祉施策の一環として捉えており、公共交通サービスとして高齢者と子供は運賃を無料としております。

質疑 昨年から始まった小型デマンドバスの利用率が低いが対策は？

答弁 小野市地域公共交通総合連携計画を策定。観光開発・都市住民との交流を含めデマンドバスの発展型について利用率向上を検討します。

（副市長）

質疑 太陽光発電設置補助金10、000千円の具体的内容について

答弁 市が策定を目指す「環境基本計画」の中でクリーンエネルギー導入推進具体策として、北播磨で初の住宅用太陽光発電システム設置補助金を創設。戸建て住宅に100千円を限度として100件を目標に5月から募集します。

質疑 最終設置目標件数は？

答弁 最終目標は1、000件と考えています。

（市民安全部次長）

手数料条例の改正について

質疑 住民基本台帳カードの交付枚数について

答弁 昨年末で1、247枚、普及率2・5％の状況。高齢者の身分確認証としてご利用いただくよう、4月から交付手数料を無料とし普及促進を図ります。

質疑 住民基本台帳カードの多目的利用促進について

答弁 カードが多目的に利用されている自治体は県下で9市町村あります。多目的に利用するには高額な処理システムが必要です。本市では、普及状況を勘案したうえで提示のみで利用便性につながる利用方法を検討してまいります。

（市民福祉部長）

平成21年度 政務調査費収支報告書

私たち小野市議会では、市民に顔の見える議会活動を心がけ、日々努力しています。
市議会の会派に対し、市政の調査研究を目的に政務調査費が支給されています。
支給金額は、１人あたり年額24万円を交付しています。
収支報告書は、次表のとおりです。（全て領収書が添付されています）

（単位：円）

		新生クラブ（７人）	市民クラブ（４人）	公 明 党（２人）	清風クラブ（２人）	明政クラブ（２人）	日本共産党（１人）
交付金額		1,680,000	960,000	480,000	480,000	480,000	240,000
〔支出内訳〕	研究研修費	62,480	60,010	36,240	63,290	36,240	
	調査旅費	866,685	551,627	172,680	283,336	287,194	19,600
	資料作成費	39,726			4,506		48,666
	資料購入費	1,200	57,329	69,615	17,559		64,515
	広報費	520,900	293,990		125,180	108,810	220,870
	広聴費						30,000
支出額		1,490,991	962,956	278,535	493,871	432,244	383,651
差引額（※1・2）		189,009	－2,956	201,465	－13,871	47,756	－143,651

※1．差引額がマイナスになった会派は、そのマイナス額を議員が個人負担しています。
※2．差引額がプラスになった会派は、そのプラス額を市に返還しています。

常任委員会審査報告

3月定例会の提出議案審査付託について、3月25日、総務文教、民生保健、地域振興、各常任委員会を開催しました。
審査付託議案は、議案第17号から第30号までの計14議案であり、市当局から細部にわたる説明を受けると共に、請願については紹介議員からの内容説明を受け、議案及び請願について慎重に審査をいたしました。
各常任委員会に付託された議案・請願は、次のとおりです。

◎ 総務文教常任委員会 ◎

- 第17号　一般職の職員の給与に関する条例及び職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 第18号　委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 第19号　行政財産の使用許可に関する使用料条例の一部を改正する条例の制定について
- 第27号　小野市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について

採決の結果、全議案について全員賛成により可決すべきと決まりました。

なお、審査する過程において次のような意見がありました。

議案第19号について、「自動販売機設置業者の選定において、今後入札制度が導入される予定でありますが、障害者団体も既に設置業者となっており、今後も引き続き設置できるよう配慮されたい。」

◎ 民生保健常任委員会 ◎

- 第20号　小野市手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について
- 第21号　小野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について
- 第22号　小野市福祉年金条例の一部を改正する条例の制定について
- 第23号　小野市保育の実施に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 第24号　小野市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について
- 第28号　小野加東環境施設事務組合規約の変更について
- 請願第１号　保険でよい歯科医療の実現を求める意見書採択を求める請願

議案第22号について、反対討論があり、採決の結果、賛成多数で可決すべきと決まりました。残りの５議案については、全員賛成により可決すべきと決まりました。

また、請願第1号も採択の結果、全員賛成となり、意見書を小野市議会議長名で衆・参議院議長やそれぞれ関係する大臣に提出することになりました。

なお、議会ホームページに請願内容は、掲載しております。

◎ 地域振興常任委員会 ◎

- 第25号　小野市白雲谷温泉ゆぴかの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 第26号　小野市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 第29号　小野市道路線の認定について
- 第30号　小野市道路線の変更について

採決の結果、全議案について全員賛成により可決すべきと決まりました。

慎重に審議する総務文教常任委員会

請願とは…

請願は、直接請求とは異なりますが、市民の皆さんが市政についての要望や意見を直接市議会に提出する制度です。議員の紹介のあるものを市議会議長あてに文書で提出します。議会に出された請願は、所管の委員会に付託して審査され、本会議で採択か不採択かを決定します。詳しいことは、議会事務局までお問い合わせください。

議会改革特別委員会の報告

○議会改革特別委員会設置の趣旨

地方財政は、昨今の社会・経済情勢の悪化に伴う市税の減少や地方交付税の削減、また国の経済対策に伴う公債費負担の増加などにより、依然として厳しい状況が続く中、われわれ議員としても、こうした社会・経済情勢を認識し、行財政改革の必要性を踏まえた上で、最小の経費で最大の効果を挙げるべく、簡潔かつ効率的な議会運営を目指すことが、真に市民の負託に応えることになると考え、議会改革および議員定数について検討を行うために、議会改革特別委員会を設置しました。

○経過

⑴平成21年3月26日に議会改革特別委員会が設置され、委員に井上日吉、河島信行、山中修已、竹内 修、吉田成宏、石田喜久男、鈴垣 元、藤原 健、藤本修造の9人が選出され、平成21年4月6日、委員長に井上日吉、副委員長に吉田成宏を選任した。平成21年5月14日、藤原 健、藤本修造が辞任のため、川名善三、松本英昭を選出しました。

以降、9回にわたり議会改革特別委員会を開催し、42項目の改革について協議を重ねました。また、議員協議会を2回開催し、適切妥当な議員定数のあり方などについて、議員全員で協議を重ねました。主なものを紹介します。

1、議員定数について

歴史的な国の政権交代や、これまでの地方分権の推進により、地方自治体の果たすべき役割、議員の果たすべき役割は、より一層重要とされている。

また、地方財政は、昨今の社会・経済情勢の悪化に伴う市税の減少や地方交付税の削減、また国の経済対策に伴う公債費負担の増加などにより、依然として厳しい状況が続く中、以前にも増して地方自治体の行政経営の手腕が問われてくるものである。

われわれ議員としても、こうした社会・経済情勢を認識し、行財政改革の必要性を踏まえた上で、最小の経費で最大の効果を挙げるべく、簡潔かつ効率的な議会運営を目指すことが、真に市民の負託に応えることになると考えることから、議員定数について議論を重ねたところである。

議会改革特別委員会において、①議員定数の根拠について、②市民に与える影響について、③議会の果たす役割と議員定数について、④行政運営の効率化と議会の効率化についてなど、さまざまな視点・論点から議論を重ねた結果、議員自らが厳しい状況の中に身を置くという姿勢を、市民に示すことは重要であり、定数を2人削減し16人としても、議員自らが資質を高めることにより、議会の活性化は可能であるとの意見があった。

また一方で、市民の要求は多種多様化しており、今後も絶えず変化し続ける社会ニーズに対応するため、ますます議会の持つ批判・監視機能の充実を図るためにも、現在の定数が望ましいとする意見があった。

以上のことから、市民に開かれた小野市議会は、議員定数について、議会の意思決定を議場で採決すると決定した次第である。

議員提出議案第1号
小野市議会議員定数条例の一部を改正する条例の制定について

定例議会最終日(3月29日)に、河合俊彦議員・松井精史議員・竹内 修議員から、議員定数を18人から16人に削減する議案が上程されました。

採決の結果、賛成議員16人、反対議員1人となり、可決となりました。

2、議会基本条例の制定について

議会基本条例は、地方分権時代にふさわしい議会のあり方を明らかにするとともに、さらなる議会の活性化を図り、もって小野市の豊かなまちづくりを実現することを目的とする。小野市議会には、158項目に及ぶ議員相互の申し合わせ事項、いわゆる紳士協定があり、まずはそれを守り実行することが肝要である。今後、基本条例の制定に向け、議会運営委員会や各会派で基本条例を制定している市議会の視察等を行い、制定に至った経緯や背景、また必要性などについての調査研究を引き続き行う。

3、各種委員会の委員報酬及び各一部事務組合議員の議員報酬の辞退について

小野市が設置する、国民健康保険運営協議会・環境審議会・民生委員推薦会・都市計画審議会・商工業振興対策審議会・国民保護協議会・防災会議から支給される委員報酬及び、関係市町の議員で構成

される、北播衛生事務組合・播磨内陸医務事業組合・北播肢体不自由児機能回復訓練施設事務組合・小野加東環境施設事務組合・小野加東広域事務組合の一部事務組合から支給される組合議員報酬については、「議員の職務の範囲内と考えられる。」ことから、平成22年4月以降に発生する報酬については、全会一致でもって辞退することに決定した。

なお、一部事務組合からの議員報酬の辞退については、組合議会を構成する関係市町の首長や議会に対して、理解と協力を求め、各組合議会で協議を進める。

4、議員報酬について

議員報酬については、市長の諮問に応じて、小野市内の公共的団体等の代表者や市民で構成される小野市特別職報酬等審議会で、更に幅広い意見のもと市民の目線により審査された報酬額である。したがって、小野市特別職報酬等審議会の決定を尊重する。

5、議長職などの任期について

議会の役員の任期は、申し合わせで1年となっており、一旦は届け出を出し辞任することになっている。ただし、議長は立候補制をとっており、翌年の立候補を妨げるものでなく、常任委員会においても、継続して同じ委員会に所属することも可能であるため、必ずしも1年しか所属できないわけでない。したがって、現状の取り扱いで不都合はない。

一方、監査委員については、市の財務事務等が、適正、公平かつ効率的になされているかどうかを、市民の立場にたって監視する重要な職務である。昨今のめまぐるしく変化する時代に対し、行政もフレキシブルかつスピーディに、市民のニーズに応え、絶えず変化し続けている。そのような、多岐にわたる財務事務等に対し、任期1年という期間では、十分な監査を行う体制が整わないことから、平成23年5月の改選から監査委員の任期を2年とする。

6、議会の情報公開について

7、議会だよりの増刊について

8、定例議会の議案質疑や一般質問の1回目は総括、2回目以降は一問一答式にし、答弁を含め70分とすることについて

9、一問一答方式で分かりやすい議論をする議会について

10、市長部局から議員への逆質問（反問権）を可能とすることについて

11、定例議会の一般質問は、発言を希望する議員の人数を問わないことについて

12、常任委員会の複数所属について

13、常任委員会は、所属していない委員も出席可能とする。また、委員長の許可が得られれば発言が出来ることについて

14、定例議会での議案質疑をなくし、全て一般質問とすることについて

15、市民も参加できる開かれた議会

16、議会報告会の開催

17、連絡会議の開催について

18、議会の独自性の確立について

19、行政視察の事前研修と報告会の開催について

20、視察報告書の公開について

21、各常任委員会は、所管事務調査の取り組みテーマを十分検討し視察を行う。その結果については、議会ホームページで市民に報告する。

22、各一部事務組合議会の報告を議会ホームページで掲載することについて

23、決算・予算特別委員会は、審査時間に捉われず意見や質問を受け付ける。ただし、質問は簡潔明瞭に行い、全委員が発言できるよう配慮することについて

24、予算特別委員会は、傍聴ができるよう本会議場かエクラで開催することについて

25、講師を招き、議会に関する最新の動向や条例事例等の講義を受け共通の理解に努めることについて

26、議員への連絡等は全て携帯やパソコンとし、FAXは廃止することについて

27、委員会の数を変更 3委員会から2委員会に減らす

28、議員同士が自由に討議する議会

29、市民に分かりやすい議会

30、行政となれ合わない議会

31、市民と政策をつくる議会

32、行政から独立した事務局をもつ議会

33、実効性あるチェック機能をもつ議会

34、自ら運営できる議会

35、議員ポストの設置

36、本会議場に質問席を設ける

37、議会傍聴者の促進

38、議会申し合わせ事項の見直し

39、葬式の香典の廃止、参列制限しない

40、委員会を本会議場で行い、傍聴及びインターネット配信による視聴が可能とする

41、議員個々の議会報の発行

42、アンケート調査をする

6項目以降の詳細は、市議会ホームページに掲載していますのでご高覧ください。

予算特別委員会意見

予算総額 366億円

平成22年度の小野市予算が、３月定例会に提出。これを受け議会は、全議員による予算特別委員会を設置して、３月15日、16日、23日に予算審査を実施。新年度予算が市政の運営にどう反映するのか、市政をどのように運営するのかなど、多くの意見が出されました。
予算特別委員会が各部局へ要望した意見は下記のとおりです。

付託議案（９件）
- 議案第２号　平成22年度小野市一般会計予算
- 議案第３号　平成22年度小野市国民健康保険特別会計予算
- 議案第４号　平成22年度小野市老人保健特別会計予算
- 議案第５号　平成22年度小野市介護保険特別会計予算
- 議案第６号　平成22年度小野市後期高齢者医療特別会計予算
- 議案第７号　平成22年度小野市都市開発事業会計予算
- 議案第８号　平成22年度小野市病院事業会計予算
- 議案第９号　平成22年度小野市水道事業会計予算
- 議案第10号　平成22年度小野市下水道事業会計予算

総合政策部

◎小学校までの距離が遠距離であるため、地域の小学生たちは、スクールバスで通学しています。しかし、１・２年生などの低学年が徒歩で通学するのには、距離の遠い地域があるのも現実です。
今後、コミニティバスの利用展開を検討される際には、子供たちにも優しい取り組みとなるような検討をされたい。

◎職員提案は、平成21年度の提案件数が、年間６００件を超えるなど、年々増えつつあり、「政策提案・アイディア提案・経費削減提案」の各部門に多くの職員が、市役所のため、あるいは市民のために、斬新な発想で提案されています。
今後、素晴らしい提案には、賞金を増額して、より充実した制度にするなど、職員のモチベーションが、ますます高まり、更に斬新な提案がなされるような仕組み作りを構築されたい。

総務部

◎グローバル化が、ますます進む社会において、小野市の子供たちが、国際的な異文化に触れることは、大変意義深いことであります。姉妹都市を締結しているリンゼイ市との交流にあたっては、市内の多くの子供たちが、国際的な異文化に触れることのできる機会であることから、少しでも多くの子供が、参加し体験しやすい仕組みづくりの検討を図られたい。

市民安全部

◎地球温暖化による自然環境の大切さは、国民の関心が非常に高い問題であります。この度の、省エネ改修工事においては、市民に見える形となるような、工夫を凝らした事業となるように取り組まれたい。

市民福祉部

◎昨今の社会経済情勢の悪化に伴い、10年前に比べると、生活保護世帯は約3倍程度伸びている。また、失業などにより、若い世代の生活扶助や住宅扶助の件数も増えてきている。
生活保護認定の要件は、相当の知識が必要なことから、専門的な知識を有する職員が、複数で対応できる組織づくりに努められたい。

地域振興部

◎小野まつりは、実行委員会の創意工夫のもと、花火大会や「おの恋おどり」などの催しで、賑わいのある盛大なイベントとなっており ます。しかしながら、市内外から多くの方がお越しになることに伴い、交通面において、会場周辺は

2年連続の「積極型予算」

5つの重点項目

- 安心して暮らせる地域社会の構築
- 次代を担う子どもたちの育成支援
- 豊かな人間性を育む教育環境の整備
- 環境にやさしいまちづくりの推進
- 地域活性化の推進

大変混雑をしております。

そこで、警察との連携を強化し、混雑を避ける対策をあらゆる方面から検討され、安全安心に万全を期されるよう努められたい。

◎特定外来生物のヌートリアやアライグマなどが、市内一円に生息していると思われる。被害が拡大しないよう、早急に対策を講じるよう努められたい。

◎農地・水・環境保全向上活動支援事業は、多くの集落が取り組まれております。この事業は、地域を美しくする環境保全だけではなく、各地域の活性化にも繋がっていることから、今後も更なる事業の発展を図られるよう努められたい。

市民病院

◎健全な病院経営の運営を図るため、経営改革プランの検証を進め、職員が一丸となって、更なる経営戦略に取り組まれたい。

水道部

◎船木浄水場の運転管理業務が民間企業へ委託されるが、引き続き市民が安全で安心して飲める、おいしい水の提供に努力されたい。

消防本部

◎消防本部と消防団との連携を、これまで以上に密にし、より一層、万全な火災警戒の推進に取り組まれたい。

また、万一の災害の際には、両者がスピーディな連携を取れるような仕組みづくりの構築に努められたい。

教育委員会

◎ADHD(注意欠陥、多動性障害)の児童に対応するため、全小学校にスクールアシスタントを配置し、支援を必要としている子供たちのために、引き続き効果的な指導に努められたい。

◎脳科学理論に基づく、小野市独自のハートフルチャレンジ事業は、全国から注目され、高い評価を受けている事業であります。今後も引き続き、小野市の教育を全国に発信する事業として、更なる活動に努められたい。

◎来年度、大部地区地域づくり協議会が受けられる地域コミュニティ助成事業は、まさに地域を活性化するうえで、大変有意義な助成金であります。

次年度においても、他の地域づくり協議会が申請できるように取り組まれたい。

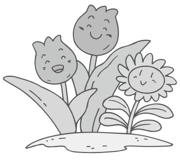
◎地域元気アップ活動団体の支援事業について、毎年同じ団体が受け続けるのではなく、できるだけ多くの団体が受けられるよう、その裾野を広げられたい。

◎第1回小野詩歌文学賞は、新型インフルエンザの影響で、中止せざるを得なくなったことは、大変残念なことでありました。

平成22年度は、第2回目となるが、1回目だという新たな固い決意を持って、「文化・教育のまち小野市」を全国に発信されたい。

◎地域づくり協議会が発足して6年が経過し、その目的や意義の理解も深まるとともに、地域づくり協議会事業に対する認識が高まり、協働参画者も年々増えることにより、事業も大きく充実し発展しております。

今後も、地域づくりの方向性と更なる発展を願い「協働参画から自主自立」へ人材の育成に努められたい。



◎議会の動き◎

【２月】
２日　民生保健常任委員会研修会
〃　栃木県真岡市行政視察受け入れ
３日　全国市議会基地協議会総会（東京）
４日　地域振興常任委員会研修会
５日　小野加東環境施設事務組合議員協議会
〃　新潟県糸魚川市行政視察受け入れ
８日～９日　新生クラブ行政視察（伊賀市・いなべ市）
〃　市民クラブ行政視察（武雄市）
10日　エイジルネッサンスパーティ
〃　播磨内陸医務事業組合議会（加東市）
16日　全国市議会議長会産業経済委員会（東京）
〃　北播磨肢体不自由児機能回復訓練施設事務組合議会（加東市）
〃　北播衛生事務組合議会（加東市）
16日～17日　明政クラブ・清風クラブ行政視察（鬼北町・四国中央市）
17日　神奈川県秦野市行政視察受け入れ
18日　兵庫県市議会議長会総会（神戸市）
19日　北播政経懇話会（西脇市）
20日　小野市スポーツ賞表彰式
21日　ＯＮＯリンピック
22日　議会運営委員会
〃　市議会報編集委員会
24日　船木浄水場竣工式
25日　小野加東環境施設事務組合議会
〃　ハーブサミット小野大会ハーブ料理試食会
26日　小野加東広域事務組合

【３月】
１日　本会議（第１日）
４日　北播磨総合医療センター企業団議会
８日　小野特別支援学校体育会竣工式
10日　中学校卒業式
11日　本会議（第２日）
〃　議会運営委員会
12日　本会議（第３日）
15日　予算特別委員会（第１日）
16日　予算特別委員会（第２日）
17日　特別支援学校卒業式
18日　幼稚園卒園式
〃　北播政経懇話会
19日　小学校卒業式
〃　小野商工会議所通常議員総会
20日　北播少年親善野球春季大会
23日　予算特別委員会（第３日）・議員協議会
25日　総務文教・民生保健・地域振興常任委員会
〃　小野市新殖産品認定式・永寿企業並びに優良従業員表彰式
29日　本会議（第４日）
30日～31日　明政クラブ・清風クラブ会派行政視察（福井市・越前市）

【４月】
７日　中学校入学式
〃　特別支援学校入学式
８日　小学校入学式
８日～９日　市町村議会議員セミナー（大津市）
９日　東播淡路市議会議長会総会（高砂市）
10日　小野ロータリークラブ50周年記念式典
11日　小野市消防大会
12日　幼稚園入園式
15日　小野市老人クラブ連合会総会
16日　地域振興常任委員会研修会
〃　市議会報編集委員会
20日　近畿市議会議長会総会（堺市）
24日　小野市文化連盟総会
25日　小野市青少年補導委員会総会
26日　小野市区長会総会
〃　民生保健常任委員会研修会
28日　兵庫県市議会議長会総会（加東市）
30日　議会運営委員会
〃　市議会報編集委員会

開かれた議会をめざして

小野市議会では、「議会だより」だけでなく、議員が所属する各会派で会報誌・ホームページなどを作成し、市政・議会の動きを情報発信しています。

各会派の会報誌。各会派で発行し配付しています。

◎各会派ホームページ◎	
新生クラブ	http://www.ono-shinsei-club.sakura.ne.jp
市民クラブ	http://www.sivicclub.com
公　明　党	http://gikai.blog22.fc2.com
明政クラブ	http://meiseiculb.sakura.ne.jp
清風クラブ	http://www.seifuclub.com

※小野市議会ホームページ「会派名簿」のページからもリンクしています。ぜひ一度ご覧ください。

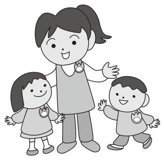
傍聴お待ちしております

６月定例会日程

５月31日（月）（第１日）午前10時～
６月16日（水）（第２日）午前10時～
６月17日（木）（第３日）午前10時～
６月24日（木）（第４日）午後１時30分～

本会議の第２日と第３日は、議員の質疑、一般質問があります。
議員からは、提出議案の質疑、市政全般にわたる一般質問を行い、これに対して市長、部長が答弁します。

託児コーナー開設します



６月16日（水）・17日（木）

ご希望の方は６月８日（火）までに、議会事務局までお申し込みください。

小野市議会 Live中継　自宅にいながら議会の傍聴　**実施中!!**
小野市ホームページからご覧いただけます。